

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	スーパーテクノロジー科	夜・通信	3,240 時間	320 時間	
	ゲームクリエイター科	夜・通信	2,400 時間	240 時間	
	e-sports 科	夜・通信	2,400 時間	240 時間	
	デジタルクリエイター科	夜・通信	2,400 時間	240 時間	
	総合マンガ科	夜・通信	2,400 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公開 <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公開  
[https://www.nca.ac.jp/school/public\\_info/](https://www.nca.ac.jp/school/public_info/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 取締役会長	2023. 4. 1- 2026. 3. 31	地域との連携
非常勤	株式会社 代表取締役	2023. 4. 1- 2026. 3. 31	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。また、学生便覧にて、授業開始前に学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	本校ホームページにて公開 <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)                  全学科、定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により学習成果の評価を行い、単位認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。  評価基準は下記の通り  出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格  上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
財産目録	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
事業報告書	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スーパーテクノロジー 一科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間	360 単位時間	9240 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		169人	1人	8人	70人	78人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要） 全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格

<p><b>卒業・進級の認定基準</b></p> <p>(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>(進級及び卒業) 所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>(成績評価) 1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。 S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p><b>【卒業・進級判定基準】</b> 卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。 1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。 3. 卒業認定については3年次171単位以上、4年次228単位以上必要となる。</p>
<p><b>学修支援等</b></p> <p>(概要) 本校ではチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
(主な就職、業界等) ゲーム、CG、IT 業界全般			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101 人	3 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学費支弁困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ゲームクリエイター 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間	300 単位時間	2400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	79人	0人	8人	70人	78人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>



3. 卒業認定については3年次 171 単位以上、4年次 228 単位以上必要となる。

学修支援等

(概要)

本校ではチュードメントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	0 人 ( 0%)	11 人 ( 52.4%)	10 人 ( 47.6%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、CG 業界、IT 業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68 人	4 人	5.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	e-sports 科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間	300 単位時間	2400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人	84 人	0 人	8 人	70 人	78 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。
(進級及び卒業) 所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。 ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。
(成績評価) 1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。 S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格
(卒業・進級判定基準) 卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。 1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。

3. 卒業認定については3年次171単位以上必要となる。
学修支援等
(概要) 本校ではチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29人 (100%)	0人 (0%)	23人 (79.3%)	6人 (20.7%)
(主な就職、業界等) e-sports 業界、ゲーム業界、イベント業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) イベント検定、パソコン整備士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94人	3人	3.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	デジタルクリエイター 一科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間	300 単位時間	2,400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		72人	5人	8人	70人	78人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>

3. 卒業認定については3年次171単位以上必要となる。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードメントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	9人 (64.3%)	5人 (35.7%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、CG業界、デザイン業界、映像業界、広告業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	8人	13.3%
(中途退学の主な理由) コロナによる経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	総合マンガ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3600 単位時間	300 単位時間	2,400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		78人	1人	8人	70人	78人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>

3. 卒業認定については3年次 171 単位以上、4年次 228 単位以上必要となる。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードメントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	1 人 ( 4.2%)	9 人 ( 37.5%)	14 人 ( 58.3%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、CG 業界、広告業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83 人	3 人	3.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スーパーテクノロジー科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
ゲームクリエイター科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
e-sports 科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
デジタルクリエイター科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
総合マンガ科	100,000 円	690,000 円	713,300 円	
修学支援 (任意記載事項)				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、個別で延納、分納措置を講じている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生代表、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする。 ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ゲームクリエイター	2023年4月1日～2025年 3月31日	卒業生代表
スーパーゲームクリエイター科 在校生 保護者	2023年4月1日～2025 年3月31日	保護者代表
矢場町一丁目町内会 会長	2022年4月1日～2024 年3月31日	近隣関係者
愛知県立三好高等学校 校長	2022年4月1日～2024 年3月31日	高等学校関係者
株式会社新東通信スケッチ 代表取締役	2022年4月1日～2024年 3月31日	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>		



第三者による学校評価（任意記載事項）
--------------------

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nca.ac.jp/">https://www.nca.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		57人	54人	111人
内 訳	第Ⅰ区分	31人	29人	/
	第Ⅱ区分	18人	17人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）		/	/	0人
合計（年間）		57人	54人	111人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	-人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	-人	人	人
計	-人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）  
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給  
付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより  
認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準時間数の6割以下)	-人	人	人
G P A等が下位4分の1	-人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-人	人	人
計	15人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。